



本の紹介

わらっちゃん本



岡田 ゆうみさん (13歳)

『オヤジ国憲法でいこう!』

しりあがり寿／著
祖父江慎／著
イースト・プレス
(YA 159.5シ)



いまどきのヤングよ、君たちが大切だと思っている「個性」や「友達」や「恋愛」は、じつはぜんぜん大切なんじゃない！世のオヤジ代表である著者が、「いまどきのヤング」に向かって、「オヤジの心得」を説いたとてもユニークで面白い一冊。

※紹介している本の写真は出版社の許可を取って使用しています

『「おっさんレンタル」日記』

西本貴信／著
大和書房
(YA 159 二)



みなさん、おっさんレンタルって知ってますか？1時間1000円でおっさんをレンタルできるサービスのことです。そんなおっさんレンタルのおっさん本人が、今までに出会った依頼人とのエピソードを語る笑いあり涙ありの一冊。

イベント告知

トークセッション『ゆっくり、のんびり、ぎふで暮らそう。』

第3回「食と農のある暮らしを考える」

日時：12月19日(土) 13:30~15:00

場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 1階

かんがえるスタジオ

ゲスト：岡田 さや加氏(ミツバチ食堂・ツバメヤ経営)

岡田 桂織氏(出張料理教室「桂樹庵」)

コーディネーター：吉成 信夫(岐阜市立図書館館長)

定員：50名(事前申込・先着順)

参加費：無料

申込み方法：電話または岐阜市立中央図書館カウンターにて
お申込み下さい。

問い合わせ：058-262-2924

本×café



岐阜市立中央図書館ヤングアダルトコーナーの

一角にひっそりと佇むカフェをご存知ですか？

違いのわかるオトナな YA 世代が、勉強で疲れた頭をリフレッシュし、新しい世界へと踏み出すためのカフェ。



本×飲み物をテーマに、おすすめ本を紹介しています。

今月は「紅茶×本」を紹介しています。

ぜひ、こちらのカフェに立ち寄ってみてね！

YA 書架ってどうなってるの？

みんなが使う YA (中高生) エリアの書架について紹介するよ！

中央図書館 YA エリアは
まず入ってすぐに返却本
と新刊コーナーがあるよ。
返ってきた本やみんなが
読みたい本が見つかる
かも。その棚から番号順
に本があるんだ。



例えば、歴史に関する
本は2番、スポーツに
関する本は7番、小説
や物語は9番やF番に
並んでいるよ (文庫は
別に分かれているから
気をつけてね！)。



分かりやすい表を作ったから参考にしてみて！

- 0番 総記 (百科事典や図書館に関する本など)
- 1番 哲学 (心理学や宗教に関する本など)
- 2番 歴史・地理 (伝記や地誌に関する本など)
- 3番 社会科学 (仕事に関する本や政治、福祉など)
- 4番 自然科学 (数学や化学物理、医学など)
- 5番 技術・工学 (建築や電気、料理や手芸の本など)
- 6番 産業 (農業、園芸や動物の飼育の本など)
- 7番 芸術・美術 (スポーツや音楽に関する本など)
- 8番 言語 (敬語や方言、辞典など)
- 9番 文学 (エッセイ、小説など)
- F番 小説 (ライトノベルなど) 作家順

YA だけでなく他の本棚もこんな風に並んでいるよ。

開館日カレンダー

2015年12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

は全館休館

は長良・東部図書室休館

は分館・図書室休館

2016年1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

は図書室休館

は西部・長森図書室休館

中央図書館 262-2924
分館 268-1061
長良図書室 233-8170
東部図書室 241-2727

西部図書室 234-1633
長森図書室 240-2702
柳津図書室 388-2026

<http://www.g-mediacosmos.jp/lib/>



岐阜市立図書館 ライブラリーレター

YA版 2015年 12月号



新着図書

『ここで、君の隣に任意の異性を代入する』



竹田真太郎/著 講談社 (YA F タケ)

男子校に通い、色恋沙汰とは程遠い青春をおくる少年。高校2年の春、新しく赴任してきた副担任・平坂龍之介の登場で、彼の世界は一変する。「クラス全員をリア充にしてみせる」伝説の元ナンパ師であり冷静沈着な数学教師でもある平坂の、恋愛特別講義がグズいながらも心に響く一冊。